

*「管内の教育」は島根県教育庁 出雲教育事務所ウェブサイトにてカラーで掲載されています。

所報 第65号

管内の教育

主な内容

- 1 所長所感
「富士山に登ってみたい。」
- 2 学校訪問指導を終えて
- 3 各指定校事業の成果



出雲教育事務所
平成30年3月

「富士山に 登ってみたい。」



所長 糸賀 和雄

私は、生来、怠け者で何事も変化を好まずできれば現状維持、そんな性格だと思っています。しかし、これまで、急に夫婦で市民マラソン（短いコースですが）への参加を決めたり、あるときはテレビに映るきれいな景色を直に見に行きたいと突然皆で遠方へ出かけたり等、時々、思いつきで家族に迷惑をかけ失敗もしてきました。

7年前のことです。知り合いの体験談を聞き、「家族で富士山に登る」ことをそれこそ思いつきました。それまで、学校の遠足で大山等に登ったことはあったものの富士山級の高山の経験がなく、もちろんそうした知識や装備も持ち合わせていませんでした。また、年齢からくる体力的な不安もありましたが、「歳を取ったら登れない。今しかない。」と2泊3日のハードスケジュールで家族を強引に説得し、1か月の準備期間を経て実施しました。

前日までの天気予報はよくありませんでしたが、当日朝、思いが通じたのか奇跡的に天候が回復し登山の許可がおりました。スタートして6合目あたりまでは調子がよかったものの、特に8合目からの急斜面は、空気も薄く、それまでの疲れもあって本当にきつかったです。日ごろ忍耐強い妻もさすがに苦悶の表情を浮かべ、度々休憩と酸素吸入しながら、必死に歩みを進めていました。そんな悪戦苦闘の中、ついに頂上に到達したとき、

それまでに感じたことのない達成感を家族と共有できました。そして、疲れ切って下山したときは、自分の健康の大切さや次のチャレンジの意欲、同時に、家族の満足する姿に少しほっともしました。

思いつきとはいえ、登る山（目標）を決めることで覚悟ができ、準備をし、1歩1歩登っているときは苦しくても、時折振り返り下を見ると確実に進歩（成長）が感じられ元気が出る。そして登頂の際は、登った人にしかわからない絶景（自分の新たな可能性）に出会える貴重な体験となりました。

今、社会が大きく変化する中、学習指導要領の改訂など、教育界も意識改革・授業改善等が迫られています。長年培ってきた自分スタイルの授業・指導方法等を変えることは、年齢が高くなるほど勇気がいることだと自分でも思っています。ただ、昨今の状況の変化を機に、あまり難しく考えずいろいろ試していくことで自分の新たな可能性が見えることもあるのではないかと感じています。

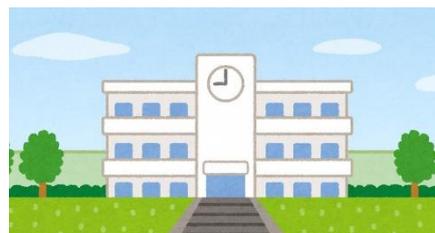
今の季節、事務所からは雪化粧した中国山地の山々がきれいに見えます。「あの山頂からこちらはどんな風に見えるのだろうか？あの山の向こうはどうなっているのか？」私は、時々、忙しい仕事の合間に暫し手を止め、7年前のことを思い出しながら遠くを眺めています。



学校訪問を振り返って～課題と改善のポイント

今年度の学校訪問指導も2月をもって終了しました。訪問した学校には事前の資料の準備等、大変お世話になりました。

管内の多くの学校に訪問指導をさせていただき、課題と思われた点とそれに対応する改善のポイントを、教科等の指導、生徒指導、特別支援教育に分けてお伝えします。



1 教科等の指導から pinkread.com

1 主体的な学びの視点から

【課題】めあて、見通し、まとめ、振り返りについて理解は進んでいるが、さらなる理解を図る必要があり、確実な実施が求められる。

- ① 児童生徒が主体的に「考えてみたい」と思えるめあてを吟味し、興味をひく問題の提示の仕方を工夫しましょう。
- ② 目的(何ができるようになるか)・方法(そのためにはどうしたらよいか)・結果(どうなるのか、およそどれだけになるか)の見通しをもたせるようにしましょう。
- ③ その授業で自分が何を学び、どう変わったかを自覚させる振り返りを行い、学んだことを次に生かそうとする意欲を高めるようにしましょう。



2 対話的な学びの視点から

【課題】全体思考(ペア、グループ活動含む)で、それぞれの考えが深まるようにする必要がある。

- ① 机間指導の際に、児童生徒の考えを把握し、全体の話し合いでどの考えをどの順番に取り上げるか等の見通しをもちましょう。
- ② 児童生徒が意見の表明をし合うだけで終わらないように、話し合う目的を確認し、相手意識をもって発言できるように繰り返し指導しましょう。
- ③ 児童生徒の発言を他の児童生徒に再現させたり、続きを考えさせたりするなど、発言をつなぐように心がけましょう。
- ④ これまでと同様に言語活動(考えを書く、伝える、聞く、記録する等)の充実を図りましょう。

3 深い学びの視点から

【課題】学んだことを活用して解決する授業を指導計画に位置付ける必要がある。

- ① 指導計画を見直し、教科の特性に応じて、毎時間または章ごと、単元の終末ごと等に活用問題を効果的に授業で扱います。
- ② 本時あるいは単元を通して付けたい力、ねらいを達成できた児童生徒の具体的な姿を明らかにしておきましょう。
- ③ 学んだことを生かし、主体的に取り組めるような家庭学習を取り入れましょう。

4 教育課程の編成(カリキュラム・マネジメント)の視点から

【課題】学校の教育目標や他教科等との関連を意識した授業を行う必要がある。

- ① 学校の教育目標をもとに身に付けたい資質・能力を設定し、単元や本時の目標を明確にして、授業改善を進めましょう。その際には、児童生徒の実態を踏まえ、地域等の外部資源を効果的に活用しましょう。
- ② 教科等横断的な視点で年間指導計画を見直し、目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列しましょう。
- ③ 実施後に、留意事項等を記録に残し、PDCAサイクルを回しましょう。



2 生徒指導から

pinkonhead.com



1 いじめの認知について

【課題】 いじめについての共通理解をさらに深める必要がある。

- ① いじめの態様や特質, 原因・背景, 指導の留意点について, 校内研修や職員会議で周知を図りましょう。
- ② 児童生徒に対し, 日常的にいじめの問題に触れ, いじめを許さない雰囲気を醸成しましょう。
- ③ 「重大事態ガイドライン」の内容を全教職員が理解し, 重大事態の認識を深めましょう。

2 いじめ防止基本方針について

【課題】 各学校のいじめ防止基本方針の見直しと公開を再検討する必要がある。

- ① 学校のいじめに対する「行動計画」に近いものになっているか確認しましょう。
- ② 学校いじめ防止基本方針が実情に即して適切に機能しているかを, 学校いじめ対策組織を中心に点検し, 必要に応じて見直すというPDCAサイクルを学校いじめ防止基本方針に盛り込みましょう。
- ③ 児童生徒, 保護者, 地域, 関係機関の参画を得た基本方針にしましょう。

3 不登校について

【課題】 未然防止, 初期対応のための体制づくりを推進する必要がある。

- ① すべての児童生徒を対象に, 学校に行きたいと感じられる学校づくりをしましょう。
- ② 教育相談コーディネーターを中心に, 児童生徒の変化を見逃さない体制をつくりましょう。
- ③ 関係機関やSC, SSW, 家庭との連携について, 教職員への理解促進をしましょう。
- ④ 未然防止のための「生徒指導のPDCAサイクル」を年間3回は繰り返すようにしましょう。



3 特別支援教育から

konhead.com

1 特別支援学級において

【課題】 障がいの状況や発達段階を踏まえ, 適切な教育課程を編成する必要がある。

- ① 校内支援体制による児童生徒理解と支援の必要性について, 共通理解を徹底しましょう。
- ② 交流及び共同学習を推進するとともに, 本人や保護者了解もとの理解学習について検討を進めましょう。
- ③ 担任を中心に校内全体で特別支援学級の教育課程を正しく理解しましょう。

2 通常の学級において

【課題】 組織的・計画的な視点から, 校内支援体制の再点検と確実な引継ぎをしていく必要がある。

- ① 非常勤講師(にこサポ)と支援員の役割を整理し, 校内支援体制における支援内容を明確にしましょう。
- ② 個別の教指導計画を基にしながら, その子への支援について校内での共通理解を徹底しましょう。
- ③ 関係機関や学校間をつなぐ個別の教育支援計画を合理的配慮の観点項目から再整理しましょう。

来年度の学校訪問指導も, 今年度と同様の内容で実施いたします。ぜひご活用ください。なお, 全中学校を対象とした「学校訪問による新学習指導要領説明会(総則・道徳等)」を行います。

出雲教育事務所のHPに来年度の「主な研修予定」, 「学校訪問指導の可能日」を掲載しますので, 申し込みの際には参考にしてください。



各指定校事業の成果等

平成 28・29 年度 島根県学校図書館活用教育研究事業 指定校 出雲市立今市小学校, 出雲市立北陽小学校, 出雲市立西野小学校, 雲南市立佐世小学校

本事業では、学校図書館活用教育を通して、各教科等の目標を実現し、情報活用能力及び思考力・判断力・表現力の育成を図ることを目指しています。各指定校の授業実践と成果を紹介します。

【出雲市立北陽小学校 第4学年】

- 教科等：総合的な学習の時間
- 単元名：北陽生き物たんけんたい
～ビオトープの活動を伝えよう、広めよう～
- 研究概要：教科等横断的な視点に立ったカリキュラム・マネジメントの推進と学習過程の構築
- 本時：児童が思考ツールを活用して、アンケート結果の分析・整理を行い、新たな課題に気づかせ、各教科を学ぶ意義を実感させることができた。

【雲南市立佐世小学校 第6学年】

- 教科等：総合的な学習の時間
- 単元名：米プロジェクト ～米の未来を考えよう～
- 研究概要：情報活用能力の育成を目指した授業づくり
- 本時：児童が課題設定に向けて、「マンダラシート」「くま手図」の2種類の思考ツールを活用し、切実感のある課題となるよう指導が行われた。

【出雲市立今市小学校 第5学年】

- 教科等：社会科
- 単元名：さまざまな食べ物の産地を調べて伝え合おう
～わたしたちの生活と食料生産～
- 研究概要：学ぶ意欲と言語能力・情報活用能力を育成することに重点をおいた授業づくり
- 本時：課題解決に向けて国語科と社会科で身に付けた情報活用能力を児童が運用する姿があった。

【出雲市立西野小学校 第5学年】

- 教科等：社会科
- 単元名：わたしたちの生活と食料生産
- 研究概要：情報・メディア指導体系表を生かした授業づくり
- 本時：児童が複数の資料を関連づけて問題を見出すことができるよう「ピラミッドチャート」を用い、思考スキルの育成を意識した授業を進めていた。

◇主な成果◇

- ①教科等横断的な視点で教育内容を配列したことで、教師が各教科間のつながりを意識して、「何ができるようになるか」というねらいをもち、指導の改善を図ることができた。
- ②思考ツール等の運用は、対話的な学びの実現に向け情報の可視化・操作化などの効果があった。
- ③学校図書館等にモデルカリキュラム(学習指導案及び図書リストなど)や成果物を保管し、教職員がいつでも活用できるよう整った。



【県内の指定校の学習指導案、モデルカリキュラム・図書リスト等のダウンロード可→島根県立図書館 HP(子ども読書県しまね)】

平成 29・30 年度 文部科学省人権教育研究指定校事業 (兼平成 29・30 年度 島根県人権・同和教育研究指定校) 研究指定校 奥出雲町立横田中学校

望ましいかかわりを大切にした集団づくりを基盤に、修学旅行での夜間中学校との交流などの行事・連携を活用した授業を効果的に設定し、主体的に考え、協働的な探究活動を行うなかで自他を肯定的に受けとめ、ともに向上しようとする生徒の育成に努めています。そして、人権感覚や集団に貢献する意欲の向上にもつなげようとしています。

(1) 研究主題

『認め合い、高め合い、主体的に行動できる生徒の育成』
～自己有用感の育成をめざした取組を通して～

(2) 横田中学校での「自己有用感」の定義

他者や集団とのかかわりを通して、自他共に肯定的に受け入れられることによって生じる、自己の存在を価値あるものとして肯定的に受けとめることができる感覚。

(3) 研究仮説と主な研究内容

①【授業づくり】

学習活動において、話し合い、学び合う活動を効果的に取り入れ、互いに共感的にかかわり合う授業を創造すれば自己有用感が高まるとともに、互いを認め合い主体的に行動できる生徒が育つであろう。

- ・小集団学習における交流や相互評価を積極的に取り入れた授業づくり。
- ・指導者の肯定的な評価言を取り入れた授業づくり。
- ・見通しをもった分かる授業・個に応じた授業づくり。
- ・人権に関する知的理解を深め、人権感覚を育成する授業づくり。

②【基盤づくり】

生徒一人一人が他者や集団とのかかわりの中で達成感を味わう活動を充実させれば、自己有用感が高まるとともに、互いを認め合い主体的に行動できる生徒が育つであろう。

- ・一人一役で自主性・主体性の育成をめざすとともに、異学年集団の交流のある特別活動の充実。
- ・人間関係プログラムを積極的に取り入れた学級学年集団づくり。
- ・人権感覚を高める環境づくり。

③【地域連携】

学校と地域が連携を深め、地域をはじめとした人材を積極的に授業や行事などに活用し、生徒がいろいろな人との交流を深める活動を充実させれば、自己有用感が高まるとともに、互いを認め合い主体的に行動できる生徒が育つであろう。

- ・学校・家庭・地域・関係諸機関等が連携した教育活動の推進。
- ・授業、行事などでの地域人材の活用と交流活動、異校種等との交流活動。